

茨城県（茨城空港旅客ターミナルビル）

茨城県小美玉市



エコ・アイス

エコキュート

徹底したコンパクト経営を実践し、空港事業のフロンティアを目指す

拡める



茨城空港旅客ターミナルビル

茨城空港は首都圏の航空需要の一翼を担う第3の空港として、2010年3月に開港した。

同空港は「安い」「気軽」「コンパクト」を基本コンセプトに、建設費の削減や将来的な経費の低減の実現に向け、施設の重要度を踏まえて検討した結果、空調・給湯・厨房設備すべてを電気熱源にした日本で初めての

電化ターミナルビルとして完成した。

建設費は、離発着ロビーを1階に集約することで削減できた。集約したことにより、国際空港としては、日本最小規模のコンパクトで効率的な施設となっている。

経費の低減についても、エネルギーコストの低減可能なエコ・アイスをはじめとする電気式ヒートポンプの導入で、より一

層効率的な電力の利用が図られている。

また、系統電力と電気式システムとの組み合わせは施設の公共性、重要性の観点から、安全性や災害など非常時の迅速な復旧のためにも最適である。

茨城空港は、今後も徹底した経営効率化を実践することにより、これからの日本の空港事業の省力化・低廉化のモデルとなると期待されている。

茨城空港旅客ターミナルビル

- ・所在地：茨城県小美玉市与沢1601-55
- ・建築設計：(株)梓設計
- ・建築施工：五洋・染谷・栗原・大成特定建設工事共同企業体
- ・蓄熱設備設計：(株)梓設計、大成設備(株)
- ・蓄熱設備施工：五洋・染谷・栗原・大成特定建設工事共同企業体
- ・延床面積：8,184㎡ ・竣工：2010年

■蓄熱設備概要

エコ・アイス(セントラル)
 熱源機：空冷ヒートポンプチラー 60kW(製氷時)×2基〔荏原製作所〕、蓄熱槽：19㎡×2基(スタティック内蔵式)
 業務用エコキュート 熱源機：9kW×1台〔日本イトミック〕、貯湯槽：3㎡×1基